

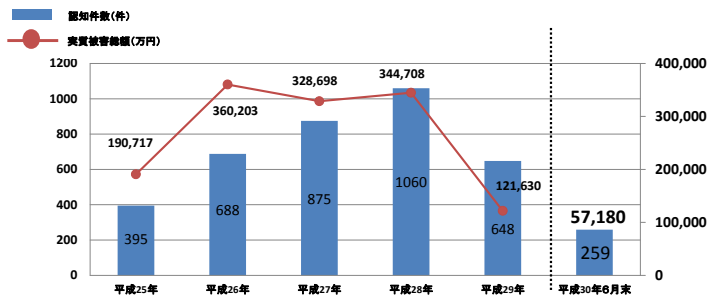


地域安全対策ニュース

愛知県警察本部
生活安全総務課

平成30年上半期 特殊詐欺被害認知状況

特殊詐欺被害の推移



認知件数

259件 (前年同期比-69件)

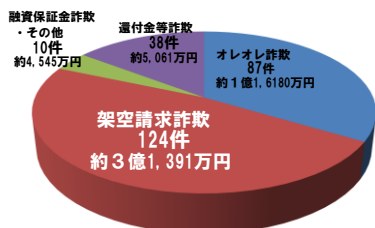
実質被害総額

約5億7,180万円

(前年同期比-約6,991万円)

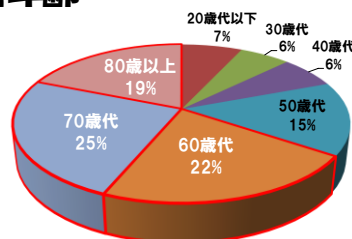
※実質被害総額は、被害総額にキャッシュカード手交型被害における事後被害(ATM払出盗)の窃取額を加算した金額

手口別 被害件数



架空請求詐欺の被害が全体の約半数を占めており、次いでオレオレ詐欺の被害が多くなっています。

被害者年齢



60歳以上が6割を超え、高齢者の被害が多くなっています。

上半期の特徴

■架空請求詐欺ハガキで高額被害が発生

犯人は宅配便での現金送付を繰り返し指示するなどして高額のお金をダマし取ります。この手口による被害は、被害総額の約3割を占め、4月には1件で5,730万円の被害も発生しました。

■キャッシュカードをダマし取られる被害が多発

警察官や百貨店などをかたり「あなたのカードが使われている。」「銀行協会から電話させる。」などと電話を掛け、銀行協会をかたり「新しいカードにする手続きをする。」と暗証番号を聞き出し、キャッシュカードをダマし取ります。犯行に要する平均時間は、わずか約1時間40分!!

■還付金等詐欺のターゲットが変化

平成28、29年は被害者の7割以上が70歳代でしたが、本年は60歳代の被害が約7割を占めています。

日頃から被害に遭わないための対策を

★架空請求ハガキ・メールはムシ!!

「消費料金に関する訴訟最終告知のお知らせ」などと記載されたハガキや「有料サイトの利用料金が未納」などのメールが届いても、記載された連絡先には絶対に連絡せず、最寄の警察署にご相談ください。

★キャッシュカードの暗証番号は絶対に第三者に教えない!! 日頃から留守番電話の設定を!!

警察や金融機関、銀行協会が暗証番号を電話で聞くことはありません。

犯人と電話で話をしないよう日頃から留守番電話設定にしておきましょう!!

★振込限度額の0円設定を!!

万が一、ダマされて振込操作をさせられても被害に遭わないように、あらかじめ振込限度額を0円に設定しておきましょう。

特殊詐欺被害を防ぐのは、ご家族、地域の絆です。

警察では、金融機関やコンビニエンスストアに被害防止のための声掛けをお願いしています。